

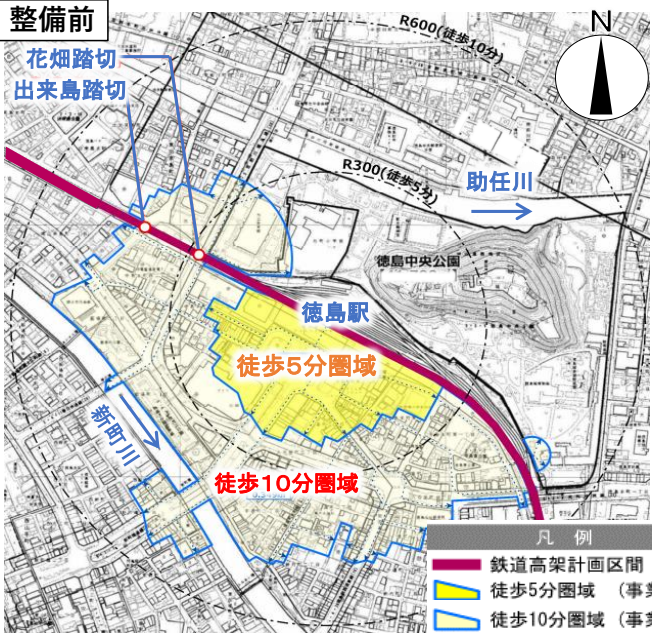
徳島駅北口設置に係る車両基地移設検討事業の中間報告について

令和6年9月定例会（事前）
県土整備委員会資料（その1）
県土整備部

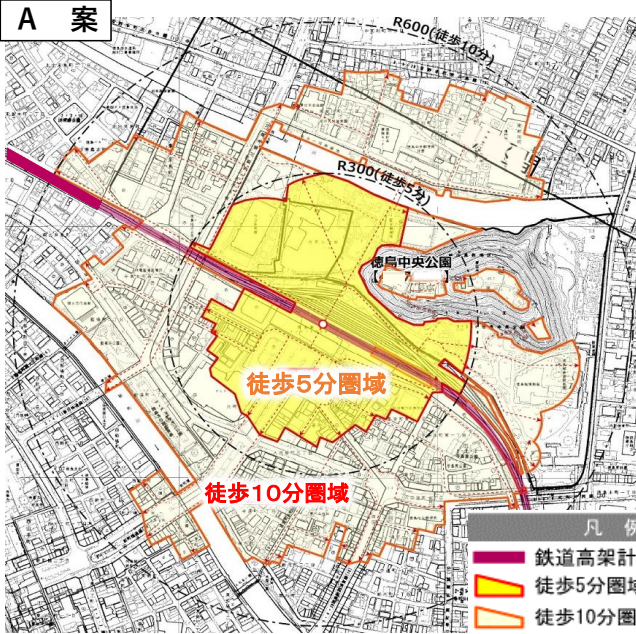
○徳島駅北側エリアへのアクセス手法の検討案

検討案 ※1	【A案】車両基地の移設＋鉄道の高架化＋自由通路（グランドレベル）の設置	【B1案】車両基地の移設＋自由通路（跨線橋形式・2階）の設置	【B2案】自由通路（跨線橋形式・2階）の設置
イメージ			
全体事業費試算額 [うち県負担想定額]	約800億円程度（H18算定事業費500億円の見直し） [約200億円程度]	約160～170億円 [全額地元負担]	約20～40億円 [全額地元負担]
上記で計上している内容	・徳島市南部の牟岐線沿いへの車両基地の移設費 ・徳島駅西～文化の森駅付近までの鉄道高架整備費（約4.7km） （回送のための行き違い線整備等含む）	・徳島市南部の牟岐線沿いへの車両基地の移設費 （回送のための行き違い線整備等含む） ・自由通路整備費（約60m）	・自由通路整備費（約150m）
工 期	概ね15～20年程度	概ね5～7年程度	概ね2～4年程度
アクセス性	・鉄道の高架化と一体となって行う「花畑踏切」をはじめとする踏切の除却（12箇所）、 「国道192号」の拡幅等により、交通円滑化が促進 ・グランドレベル（1階）で北側・南側エリアを接続することが可能 ・上下移動がなく、スムーズな歩行者動線を確保 ・回遊性の向上に寄与	・駅付近の「花畑踏切」及び「出来島踏切」が除却されない ・上下移動を伴うため、南北移動の負荷が大きい	・駅付近の「花畑踏切」及び「出来島踏切」が除却されない ・自由通路の位置が限定的となる ・上下移動を伴うため、南北移動の負荷が大きい
にぎわい 創 出	「にぎわい交流軸※2」の形成に寄与するとともに、車両基地跡・鉄道高架下空間の活用により、駅北側エリアを含め駅周辺における人流増加・商業活動の活性化が期待	車両基地跡の活用により、駅北側エリアにおける人流増加・商業活動の活性化が期待	新たな活用지가創出されないため、にぎわい交流軸の形成や人流増加・商業活動の活性化は困難

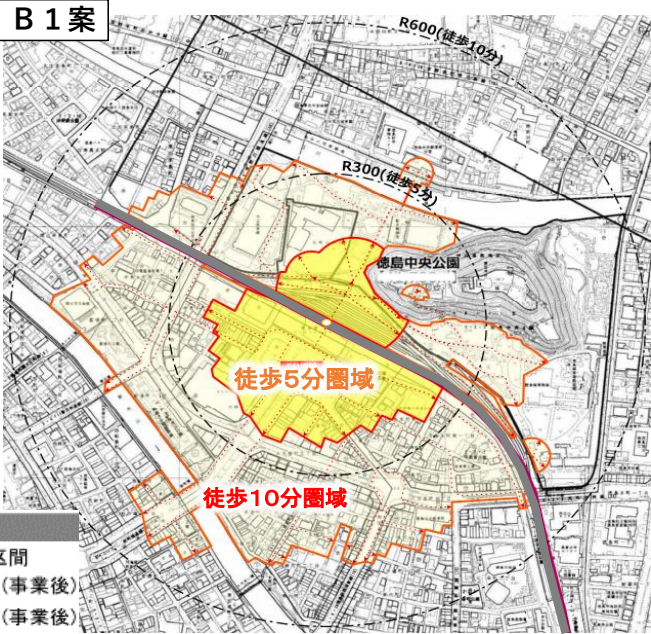
〔整備効果（徒歩圏域拡大による回遊性の向上）〕



	徒歩圏域の面積
5分圏域	0.075km ²
10分圏域	0.349km ²



	徒歩圏域の面積 ※4
5分圏域	0.171km ² (2.3)
10分圏域	0.641km ² (1.8)



	徒歩圏域の面積 ※4
5分圏域	0.108km ² (1.4)
10分圏域	0.462km ² (1.3)



	徒歩圏域の面積 ※4
5分圏域	0.084km ² (1.1)
10分圏域	0.420km ² (1.2)

※1 上記検討案及び金額については、今後、関係者との調整等により変わる可能性がある。
※2 徳島市により令和元年6月に策定された「徳島駅周辺まちづくり計画」において、にぎわい交流軸（徳島中央公園～徳島駅前広場～眉山）の形成をまちづくりのコンセプトに掲げている。
※3 上記整備効果は徳島駅入口からの徒歩で移動できる範囲を示している。
※4 整備前に対する整備後の比率を示している（増加比率＝整備後の面積／整備前の面積）。
※5 B1案、B2案については、実施する場合、事業主体等を検討する必要がある。

徳島駅北口設置に係る車両基地移設検討事業の中間報告について

○車両基地移設の検討案

【車両基地代替候補地の位置】



【車両基地の高さの検討】

＞車両基地の高さは、周辺地盤よりも1.5～5.5m程度高くなることを確認。（「施設配置」及び「車両接続」が可能である高さ）
※現行計画と同様に、高架駅部にも車両留置が必要。今後、高架工事時の施工方法、運用面など詳細検討により変更はありうる。

【車両基地の構造の検討(最高高さ・最低高さにおける検討案)】

検討案	① 高架橋構造	② 盛土構造
イメージ		
事業費試算額 ※2	約180億円程度	約150億円程度
工 期 ※3	概ね5～6年程度	概ね3～4年程度
にぎわい創出	高架下空間の活用により、中心地のにぎわいを創出することが可能	車両基地以外の利用は見込めない
東西のアクセス性 (市道の復旧)	市道の復旧は、高架下空間の活用と合わせてグランドレベルに設定することができ、自歩道だけでなく、車道も設置可能	跨線橋または地下通路による市道の復旧が可能
遺構への対応 ※4	現地保存できるように、高架橋の構造形式や配置などを検討する	土中内での現地保存が可能か検討する (地盤改良が必要な場合は、記録保存や移築することとなる)

【高架下の活用事例】

活用方法	ワーキングスペース	アウトドア体験スペース	こどもの遊びスペース・多目的室	スーパーマーケット
場 所	京都府京都市	兵庫県神戸市	京都府京都市	兵庫県神戸市
写 真				

※1 イメージ図は県独自に作成したものであり、今後、関係者との調整等により変更となる可能性がある。
※2, 3 事業費試算額及び工期は車両基地整備に係るものである。なお、他の事例における工事費及び工期を参考に算出したものであり、今後の調査等により変更となる可能性がある。事業費には、用地補償費、盛土造成や高架橋などの土木構造物のほか、軌道や検修庫などの鉄道設備、建築や機械など含む。
※4 車両基地移設代替候補地内で遺構が確認されている。対応については、今後、関係者との調整等を踏まえて決定することとなる。